セゾンマルチシリーズ　据付説明書

FDEJ(P)　36HKXD1～140HKXD1

PSB012D626

本説明書は、室内ユニットの据付方法を記載してあります。
リモコン及び電気工事の方法は、電気配線工事説明書（室内ユニット付属）をご覧ください。
室外ユニットの据付方法及び冷媒配管工事の方法は、室外ユニット付属の説明書をご覧ください。
リモコンは別売です。

適用機種	マルチシリーズ	小形ユニット	中形ユニット	大形ユニット
		36, 45, 56H	71, 90H	112, 140H

〈ご注意〉

○下記に示すような場所での据付、使用は避けてください。

●油の飛沫や蒸気の多い所（例：調理場、機械工場）
熱交換器の性能低下・腐食、プラスチック部品の破損の原因となります。

●腐食性ガス（亜硫酸ガスなど）、可燃性ガス（シンナー、ガソリンなど）の発生、滞留の可能性のある場所。熱交換器の腐食、プラスチック部品の破損の原因となります。又、可燃性ガスは発火の原因になることがあります。

●病院などの電磁波を発生する機器の近く、高周波の発生する機器の近く。ノイズ発生によるコントローラの誤動作の原因となります。

●潮風が当る所。（海浜地区）外板、熱交換器の腐食の原因となります。

○下記に据付け上の注意事項を示しますので必ずお守りください。

●直射日光の当たる所にリモコンを設置しないでください。リモコンの故障や変形の原因になることがあります。

●アースを取ってください。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は誤作動や感電の原因になることがあります。

●漏電ブレーカの取り付けが必要です。漏電ブレーカが取り付けられていないと感電や火災の原因となることがあります。

●エアコンの重量に十分耐えられる場所に確実に設置してください。据付けに不備があるとユニットの落下によるケガや振動及び運転音増大の原因になります。

●冷媒ガスが漏れた時、室内の冷媒濃度が限界濃度（0.3kg/m³）を越える恐れのある場合は、窒息防止のために隣室との間の開口部やガス漏れ検知警報と連動する機械換気装置等の取付けが必要となりますので、お買上げの販売店にご相談ください。

〈お願い事項〉

○取扱説明書を見ながら、お客様に実際に操作していただき、正しい運転のしかた（特にエアフィルタの清掃、運転操作のしかた、温度調節の方法）をご説明ください。

○長時間使用しない時は、電源スイッチを切るようにお客様にご説明ください。
電源スイッチを入れたままにしておきますと、クランクケースヒータ等に通電されエアコンを使用しなくても電力を消費することになります。

工事完了後、これだけは再チェック願います。

チェック項目	不良だと	チェック欄
室内外のユニットの取り付けはしっかりしていますか。	落下・振動・騒音	
ガス漏れ検査は行いましたか。	冷えない	
断熱は完全に行いましたか。	水漏れ	
ドレンはスムーズに流れていますか。	水漏れ	
電源電圧は本体に表示の銘板と同じですか。	運転不能・焼損	
誤配線・誤配管はありませんか。	運転不能・焼損	
アース工事はされていますか。	漏電時危険	
電線の太さは仕様どおりですか。	運転不能・焼損	
室内外ユニットの吸込・吹出口が障害物でふさがれていませんか。	冷えない	

据付のまえに

○据付はこの据付説明書に従って正しく行なってください。
○工事計画にあっておりますか。

機種・電源仕様
確認してください
配管・配線・小物部品

付属品

① ドレン関係

1	ドレンホース		1個	ドレンホースクランプ付
2	断熱材		1個	

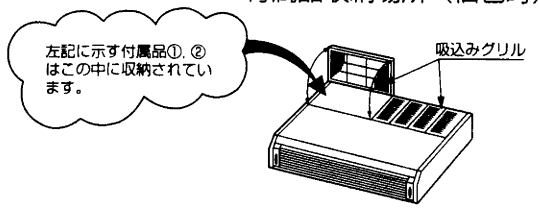
② フレアナット部断熱用

1	パイプカバー		1個	ガス側用
2	パイプカバー		1個	液側用
3	バンド		4個	

③ 本体据付関係

1	型　紙		1個	

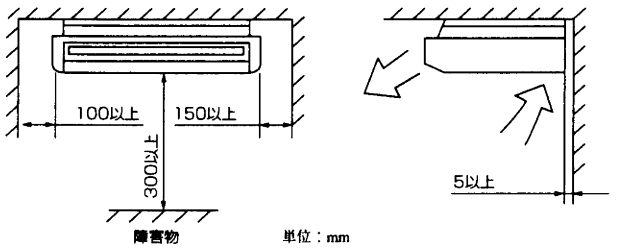
付属品収納場所（梱包時）



据付場所の選定

（室内機）

据付スペース



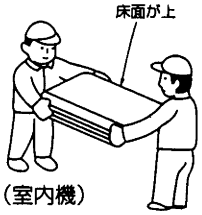
単位：mm

1．据付場所は下記条件に合う場所をお客様の承認を得て選んでください。
- ●冷風または温風が十分行きわたる所。
  据付高さが3mを越えると暖気が天井にこもりますので、サーキュレータの併設をお勧めください。
- ●室外への配管、配線のしやすい所。
- ●ドレン排水が完全にできる所。ドレン勾配のとれる所。
- ●吸込口、吹出口に風の障害のない所。火災報知器の誤動作しない所。ショートサーキットしない所。
- ●直射日光のあたらない所。
- ●周囲の露点温度が28℃以下、相対湿度80%以下の所。
  （高湿度の所に据付ける場合は本体の断熱等露付に対する配慮をしてください。）

2．据付けようとする場所がユニットの重量に耐えられるかどうか検討し、危険と思われましたら、板、桁等で補強して据付作業を行ってください。

ユニットの搬入、据付

搬　入



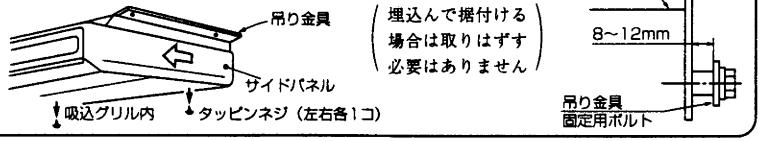
○搬入時は、できるだけ据付現場の近くまで梱包のまま搬入してください。

○やむをえず解梱して搬入する場合は、ナイロンスリングなどで包みユニットを傷つけないよう注意してください。

（注）サイドパネル、吹出ルーバ等、プラスチック部分を持たないでください。

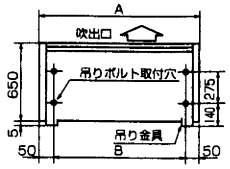
○解梱後、ユニットを置く場合は、必ずユニット床面側を上にして置いてください

サイドパネル・吊り金具の取りはずし

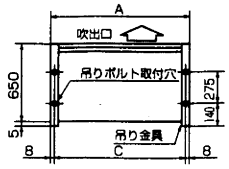


吊りボルトの位置

●吊り金具が内向きの場合
（天井露出）



●吊り金具が外向きの場合
（天井埋込）



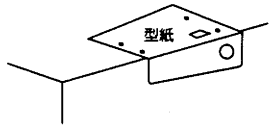
単位：mm

機種＼項目	A	B	C
36, 45, 56H	1000	900	984
71, 90, 112H	1260	1160	1244
140H	1470	1370	1454

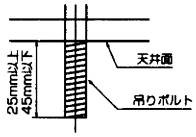
○付属の型紙を目安にして、吊りボルト位置、配管穴位置を選定し、吊りボルトの設置と配管用の穴あけを行なってください。

位置決定は、実測により行なってください。

位置決定後、型紙は取り外してください。



○吊りボルトの長さは下記寸法を厳守ください。

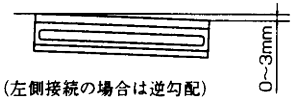


吊り金具内向き取付の場合吊りボルトは、室内ユニット天板についているプラスチックキャップの中に納まります。

プラスチックキャップは外さないでください。

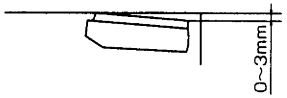
ドレン水の流れをよくするためユニットを排水側に下り勾配を設け据付けてください。

●左右方向（図は右側にドレンホースを接続する場合）



（左側接続の場合は逆勾配）

●前後方向

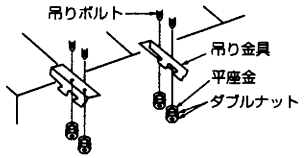


逆勾配にすると水が漏れる恐れがあります。

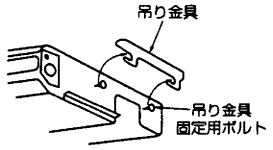
据　付

●吊り金具内向きの場合（天井露出の場合）

1）吊り金具を吊りボルトに固定します。

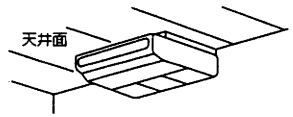


2）ユニットを持ち上げ吊り金具に引っ掛ける。



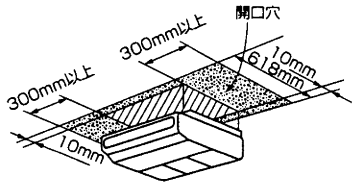
3）吊り金具固定用ボルトをしっかり締めユニットを固定してください。

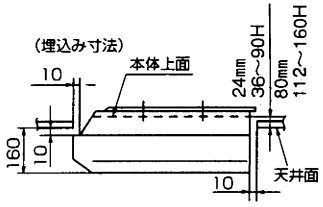
4）サイドパネルを取り付けて終了です。



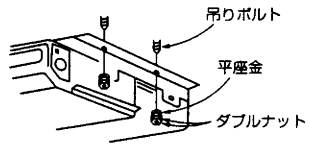
●吊り金具外向きの場合（天井埋込みの場合）

1）天井に開口穴をあけます。



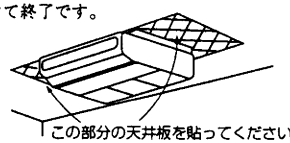


2）ユニットを吊りボルトに合せて持ち上げます。



3）ナットをしっかり締めユニットを固定してください。

4）サイドパネルを取付け開口穴とユニットのすき間に天井板を貼り付けて終了です。

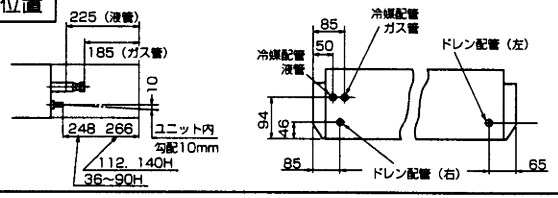


冷媒配管

は室外ユニット付属の説明書をご覧ください。

配管位置

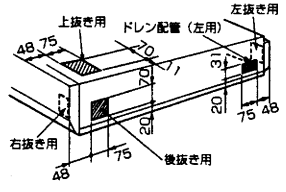
単位：mm



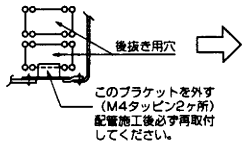
配管取り出し位置

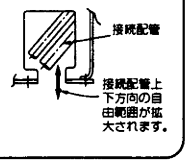
単位：mm

後抜きの配管接続の時に下図に示す様に作業を行いますと配管施工がやりやすくなります。本作業時は、ユニットより、配管側の吸込グリルを外してください。（M4タッピング2ヶ所）



配管取り出しは4方向より行えます。穴はニッパ等により切り落としてください。





冷媒配管時の注意事項

フレアナット締付トルク

φ 6.35：14～18(N·m)，(1.4～1.8kg·m)
φ 9.52：34～42(N·m)，(3.4～4.2kg·m)
φ12.7 ：49～61(N·m)，(4.9～6.1kg·m)
φ15.88：68～82(N·m)，(6.8～8.2kg·m)
φ19.05：100～120(N·m)，(10～12kg·m)

ガス側配管、液側配管とも断熱は完全に行ってください。

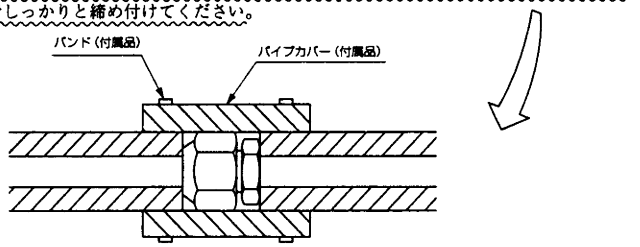
※液側配管は断熱しないと結露し水もれします。

●ユニットの配管端部のフレアナットは必ず2丁スパナで取り外し配管接続は2丁スパナでしっかりと締め付けてください。

●フレアナット接続時は、フレア背面部に冷凍機油を塗り、最初は3回～4回手回しでネジ込んでください。

●配管は下記材質のものをご使用ください。なお別売配管セットを使用されると便利です。
（材質）リン脱酸銅継目無銅管（C1220T、JIS　H3300）

●室内機のフレア接続部は、ガス漏れチェック後、付属の継手用断熱材をかぶせ、両端を付属のバンドでしっかりと締め付けてください。



ドレン配管

○ドレン配管の取出方向は、後向き、右向き、左向きがあります。

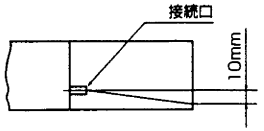
○ドレン配管を行なう場合は、必ず付属のドレンホース、ドレンホースクランプの断熱材をご使用ください。

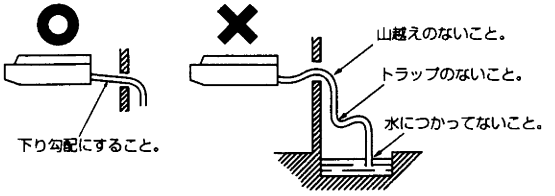
●ドレンホースは、根本までしっかりと差し込んでください。
●ドレンホースクランプは、しっかりと締め付けてください。
●ドレンホースクランプを断熱してください。

○ドレン配管を左側にて行う場合、本体の左側配管接続口に付いているゴム栓と断熱材（筒状）を右側接続口に付け換えてください。

〈注意〉

○ドレンホースは、下図のようにユニット内でたるませないよう注意して、10mmのドレン勾配をとってください。





○配管施工後、排水が良好におこなわれていることと、水漏れのないことをご確認ください。

セゾンマルチシリーズ　電気配線工事説明書

FDEJ(P)　36HKXD1～140HKXD1

PSB012D628

安全上の注意事項については、ユニット付属の据付説明書に記載してありますので、必ずご参照いただきますようお願いします。

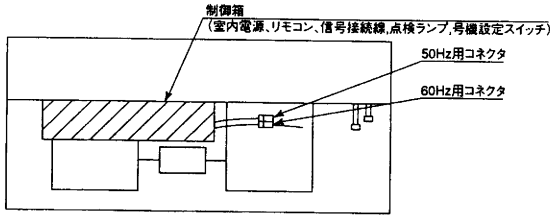
電気配線工事は電力会社の認定工事店で行ってください。

① 電気配線接続

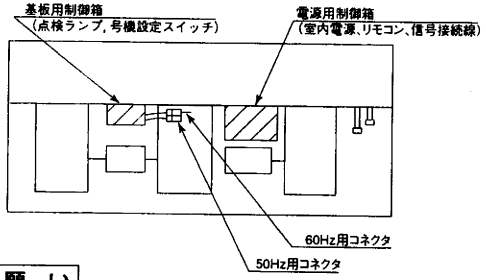
室内ユニット制御箱

○室内電源配線、リモコン信号線は端子台にて接続してください。なお端子台間の接続は室内外共、同一番号間を接続配線により結線してください

●小，中形ユニット（36, 45, 56, 71, 90H）

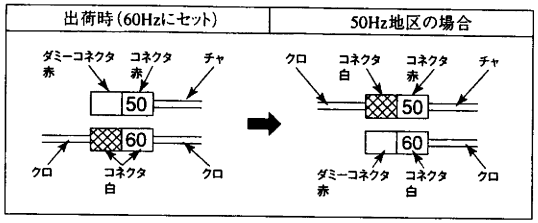


●大形ユニット（112, 140H）



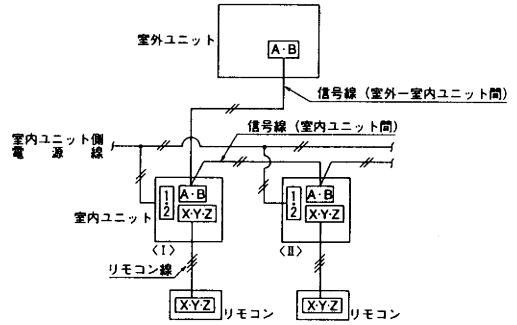
お　願　い

50Hz地区でご使用の場合は、室内モータのコネクタを50Hz側に差し換えてください。
コネクタは制御箱の横にあります。（上図参照）



配線系統図

〔室外・室内ユニット接続要領〕



記事1．本配線仕様は、
1）電源は、室外ユニット・室内ユニットの夫々別電源
2）電気ヒータ（別売品）含まず
にて記載してあります。
注）別売の電気ヒータを組込む場合は、電源仕様、配線仕様および配線本数が異なりますので、ご注意ください。

2．電源仕様

	室内ユニット用		
配線用しゃ断器定格電流（A）	室内ユニット合計電流（A）	10A未満	20
		10A以上15A未満	30
		15A以上22A未満	40
		22A以上27A未満	50
漏電しゃ断器定格電流（A）		10A未満	20,30mA.0.1sec以下
		10A以上15A未満	30,30mA.0.1sec以下
		15A以上22A未満	40,30mA.0.1sec以下
		22A以上27A未満	50,100mA.0.1sec以下

室内ユニット接続線は5.5mm²まで可能です。8mm²以上は専用プルボックスを使用し室内ユニットへ分岐してください。

3．配線仕様

電源配線		室内ユニット間電源配線	信号線	
室内側		系統間	室外～室内(1)	室内(1)～(2)～
		mm²×本数	mm²×本数	
室内ユニット合計電流(A)	10A未満	2×2本（こう長23m）	0.75/2.0×2本	0.75/2.0×2本
	10A以上15A未満	3.5×2本（こう長23m）		
	15A以上22A未満	5×2本（こう長23m）		
	22A以上27A未満	8×2本（こう長23m）		

注）内線規定に従い、配線こう長より配線太さを見直してください。

冷暖フリーマルチ（224H, 280H, 560H）の場合

分流コントローラの配線

●本ユニットを冷暖フリーマルチとして使用する場合は分流コントローラ（別売品）の据付説明書をご覧ください。

② アドレス設定

（1）自動アドレス設定
（2）手動アドレス設定
（3）リモコンアドレス設定

上記3項目については、室外ユニット付属の説明書をご覧ください。
なお、（3）リモコンアドレス設定については、設定可能な機種と不可能な機種がありますので室外ユニット付属の説明書をご覧ください。

③ リモコン取付と配線

リモコン　リモコンは別売です。

リモコンの据付

お願い　次の位置は避けてください。

1）直射日光の当る場所
2）発熱器具の近く
3）湿気の多い所・水の掛る所
4）取付面に凸凹がある所

リモコンコードを延長する場合の注意 ▶ 最大総延長600m

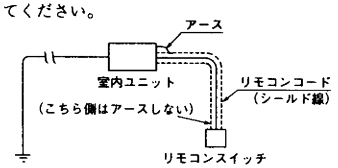
コードは必ずシールド線を使用してください。

●全形式：0.3mm²×3心（MVVS）

注（1）延長距離が100mを越える場合は下記のサイズに変更してください。

100～200m以内……0.5mm²×3心
300m以内……0.75mm²×3心
400m以内……1.25mm²×3心
600m以内……2.0mm²×3心

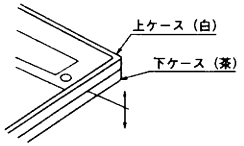
●シールド線は必ず片側のみをアースしてください。



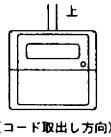
取付要領

露出取付

①リモコンケースをはずしてください。
●側面上方の上ケース（白）と下ケース（茶）に爪を掛け溝を広げはずします。

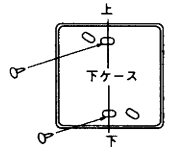


②リモコンコードの取出し方向は、下図のように上方向のみ可能です。



●リモコン下ケース側の上方薄肉部をニッパー・ナイフ等で切り取った後、ヤスリ等でバリを取ってください。

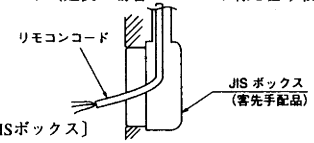
③リモコン下ケースを付属の木ネジ2本で壁に取付けます。



④リモコンコードを端子台に接続してください。室内ユニットとリモコンの端子番号を合わせて接続してください。端子台には極性があるので間違えると運転できません。
端子：Ⓧ赤線、Ⓨ白線、Ⓩ黒線
⑤室内機の機種に応じて機能の設定をしてください。
機能の設定 の項をご覧ください。
⑥上ケースを元通り、下ケースにはめ込みます。
⑦リモコンコードをコードクランプを使用して壁等に固定します。

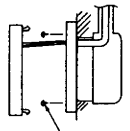
埋込取付

①JISボックスとリモコンコード（延長の場合はシールド線を必ず使用）をあらかじめ埋込んでおきます。

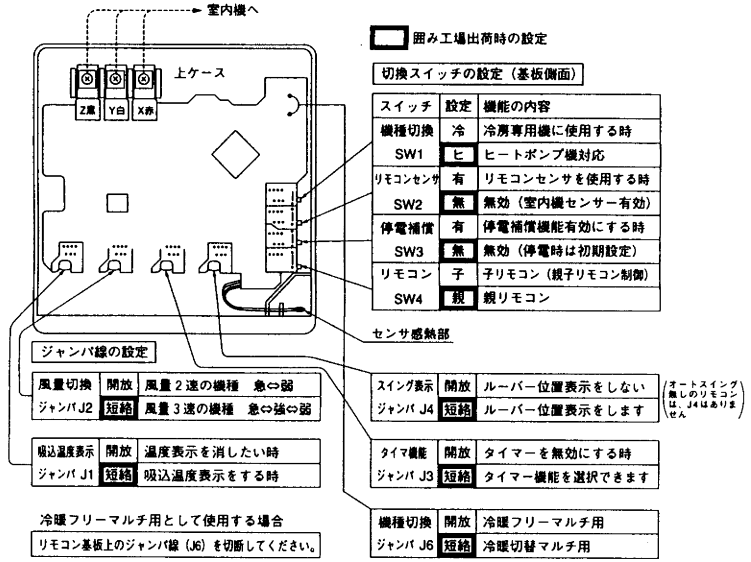


〔使用可能JISボックス〕
● JIS C 8336　1個用スイッチボックス（カバーなし）
2個用スイッチボックス（カバーなし）

②リモコンの上ケースを外してください。
③下ケースをM4ねじ2本（頭φ8以下：客先手配品）でJISボックスに取付けてください。
④リモコンコードをリモコンに接続します。
注）露出取付け の項をご覧ください。
⑤室内機の機種に応じて機能スイッチの設定をしてください。
機能の設定 をご覧ください。
⑥上ケースを元通り下ケースにはめ込み取付完了です。



機能の設定



囲み工場出荷時の設定

切換スイッチの設定（基板側面）

スイッチ	設定	機能の内容
機種切換 SW1	冷	冷房専用機に使用する時
	ヒ	ヒートポンプ機対応
リモコンセンサ SW2	有	リモコンセンサを使用する時
	無	無効（室内機センサー有効）
停電補償 SW3	有	停電補償機能有効にする時
	無	無効（停電時は初期設定）
リモコン SW4	子	子リモコン（親子リモコン制御）
	親	親リモコン

ジャンパ線の設定

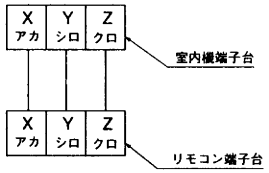
風量切換 ジャンパJ2	開放	風量２速の機種　急⇔弱
	短絡	風量３速の機種　急⇔強⇔弱
吸込温度表示 ジャンパ J1	開放	温度表示を消したい時
	短絡	吸込温度表示をする時
スイング表示 ジャンパ J4	開放	ルーバー位置表示をしない
	短絡	ルーバー位置表示をします
タイマ機能 ジャンパ J3	開放	タイマーを無効にする時
	短絡	タイマー機能を選択できます
機種切換 ジャンパ J6	開放	冷暖フリーマルチ用
	短絡	冷暖切替マルチ用

（オートスイング無しのリモコンは、J4はありません）

冷暖フリーマルチ用として使用する場合
リモコン基板上のジャンパ線（J6）を切断してください。

リモコンと室内の配線

●リモコン配線は極性があります。
必ず同一端子台No.同士接続してください。

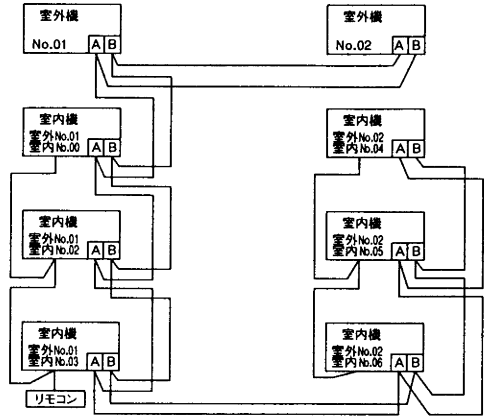


リモコン複数台制御

配線要領

●グループ制御用に各室内機間に渡り配線をします。（3本）
■室内ユニットリモコン用端子台Ｘ Ｙ Ｚに、接続してください。なお極性がありますので、同じ端子No.の所へ接続してください。
■配線は0.5mm²以上を使用してください。（配線の引廻しに耐えるもの）
■渡り線、リモートコントローラ配線の総延長は600m以内としてください。
●室内・室外No.を手動アドレス設定にてセットしてください。
■室外機の室外No.設定も必要です。忘れずに設定してください。

●下図の様に室外機が複数台の場合でもリモコン複数台制御可能です。
●1つのリモートコントローラで複数台のユニット（最大16台）をグループ制御できます。

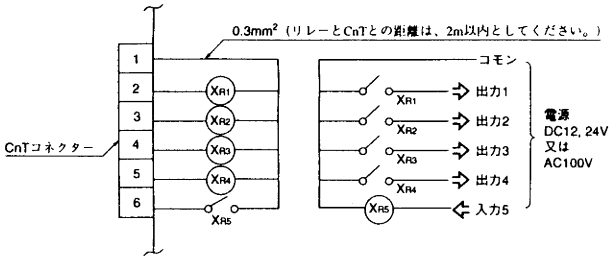


④ 制御の切換

室内機の制御内容を、下記方法にて切換可能です。

	制御切換方法	制御切換内容
室内機	室内基板〔SW-5〕のNo.1をON	遠方発停入力（CNT-No.6）切換 出荷時…レベル入力（反転できない） ↓ 切　換…パルス入力（反転）
	室内基板〔SW-5〕のNo.2をON	暖房時設定温度＋3℃
	室内基板〔SW-5〕のNo.3をON	ドレンモータ運転
	室内基板〔J-2〕切断	オートスイング4位置制御ナシ（フリー位置制御）
	室内基板SW-6のNo.1～4のON・OFFを切換える。	機種 22H 28H 36H 45H 56H 71H 80H 90H 112H 140H 160H 224H 280H 1 0 1 0 1 0 1 0 0 1 0 1 0 1 2 0 0 1 1 0 0 1 1 1 0 0 1 1 3 0 0 0 0 1 1 1 1 1 0 0 0 0 4 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1 1 1 1 0はOFF、1はON
	室内基板〔J-3〕切断	暖房サーモOFF時に室内ファンが停止する。
	室内基板〔J-4〕切断	フィルタサイン無効（検知しない）
	室内基板〔J-5〕切断	運転許可禁止制御
	室内基板SW-9のNo.1,2のON・OFFを切り換える（4方向吹出し、4方向吹出しコンパクト）	オートリフトパネルの昇降長さの設定 50Hz地区 SW9-1 SW9-2 / 60Hz地区 SW9-1 SW9-2 1.3m ON OFF / OFF OFF 1.6m OFF ON / ON OFF 2m ON ON / OFF ON
	室内基板〔J-1〕切断	ルーバ角度切換

⑤ 室内基板CnTコネクタの機能



●$X_{R1\sim4}$はDC12Vリレー（オムロン製LY2F相当品）
●X_{R5}は、DC12, 24V又はAC100Vリレー（オムロン製MY2F相当品）
●CnTコネクター（現地側）メーカー、形式

コネクター	モレックス	5264-06
端　　子	モレックス	5263T

●機　能

出力1	エアコン運転出力（エアコンON時X_{R1}＝ON）	
出力2	暖房出力	
出力3	サーモON出力（サーモON時X_{R3}＝ON）	
出力4	エアコン点検出力（エアコン点検時X_{R4}＝ON）	
入力5	出荷時	X_{R5} OFF⇒ON　エアコンON
		X_{R5} ON⇒OFF　エアコンOFF
	現地切換（SW5のNo.1をON）	X_{R5} OFF⇒ONのパルス信号によりON/OFF反転

●冷暖フリーマルチとして使用する場合は分流コントローラ（別売品）の据付説明書をご覧ください。
●遠方発停・監視キットを別売品で準備しておりますのでご利用ください。

⑥ 試　運　転

試運転については、室外ユニット付属の説明書をご覧ください。

⑦ 故障診断方法

故障診断方法については、室外ユニット付属の説明書をご覧ください。

⑧ 工事完了後のチェック項目

- ☐ 電源電圧は本体表示と同じですか。
- ☐ 室外機側でアース工事はされていますか。
- ☐ 電源線の太さは指定の配線と同じですか。
- ☐ 電源線、信号線、リモコン線の接続位置は正しいですか。